

2019年 日本化学工業協会 安全シンポジウム

三井化学アグロ 農業化学研究所 (野洲地区) 安全活動



三井化学アグロ株式会社

三井化学アグロ概要

野洲地区 安全活動

安全活動への係わり

トップ・管理者

メンバー

三井化学アグロ 会社概要

社名	三井化学アグロ株式会社 (Mitsui Chemicals Agro, Inc.)
設立年月日	2003年4月1日
本社	東京都中央区日本橋1-19-1
代表者	代表取締役社長執行役員 小澤 敏
資本金	350百万円
子会社および関連会社	宇都宮化成工業 (100%、日本) エムシー緑化 (100%、日本) SOTUS International (タイ) Iharabras S. A. Industrias Quimicas (ブラジル) Japan Agro Service (ベルギー) SOLINNOS Agro Sciences PVT. LTD. (インド) Cuulong Joint Stock Company (ベトナム) Belchim Crop Protection (ベルギー) Agriculture Construction Indonesia (インドネシア)
従業員	421名



日本橋ダイヤビルディング15～16階

(2018年10月現在)

主要製品群

三井化学アグロは、**農業関連事業と生活環境事業を軸**に、常にお客様の視点に立ち、「より安全性の高い」、「より性能の高い」、「より環境負荷の少ない」グローバルな農薬・生活環境薬剤とサービスを提供することにより、日本の農業の維持・発展ならびに生活の質の向上に貢献することを目指しています。

農薬事業



種子事業

ハイブリットライス
みつひかり



PPM*事業

シロアリ防除システム

ペット用/家庭用等 薬剤

伝染病対策









その他

(防虫シート、蚊帳、網戸、
ペット用首輪、自動販売機部品等)



* PPM: Professional Pest Management

国内拠点

-  本社
-  **研究所**  **3** (創薬、製剤、原体製造)
-  **工場** 原体工場  **1** 製剤工場  **4**
-  **営業支店**  **6**



三井化学アグロ概要

野洲地区 安全活動

安全活動への係わり

トップ・管理者

メンバー

野洲地区 全景

総面積: 4.7 ha
(圃場・温室: 約 3 ha)

社員数: 55名 / 協力会社: 20名
(2019/4/1現在)

野洲地区での研究活動

- ◆ 製剤処方開発・製剤化技術の確立
- ◆ 圃場や温室での実用性評価
- ◆ 残留・代謝研究

研究 2 号館

農場棟

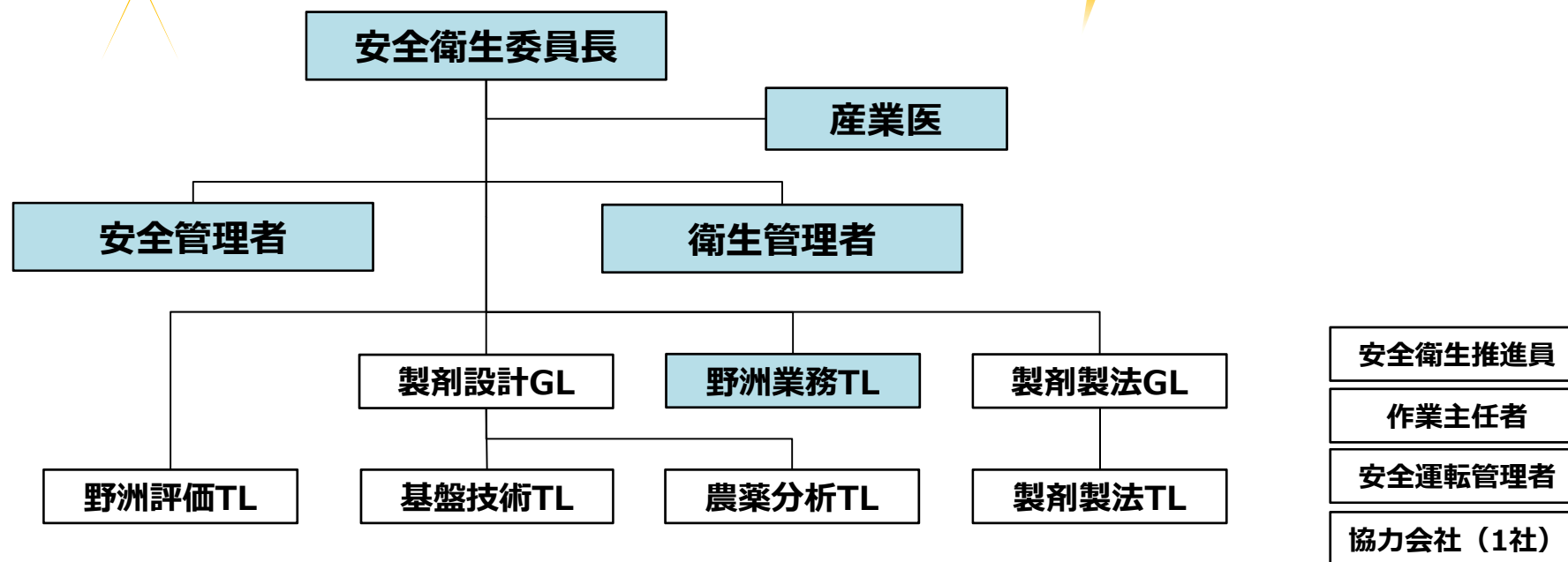
製剤試製棟

研究 1 号館

研究 3 号館

野洲川 →

野洲地区 安全衛生管理体制



地区安全関連会議

① 安全衛生委員会 (1回/月)

労働安全衛生法に基づく、労使間での協議の場

② 安全運営会議 (1回/月)

ライン管理者、安全管理者および衛生管理者による安全衛生対策協議の場

③ 安全常会 (1回/月)

地区労働者全員に対する安全衛生情報共有化の場

野洲地区 安全成績

① 無災害記録

無災害記録時間 304.9万時間

2000年1月1日起算～2018年12月31日まで

② 労働災害発生状況

	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
延労働時間数(万時間)	15.4	14.3	12.8	12.0	13.2	13.4	14.2	13.8	14.7	14.6
休業件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
休業度数率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
休業強度率	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
不休業件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
交通災害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

野洲地区における主な安全対応



- ✓ 大型機器類の適正使用
(挟まれ・まきこまれ防止)
- ✓ 防爆・粉塵対策
- ✓ 化学物質との接触被液防止
- ✓ 農機具類の適正使用
- ✓ 屋外作業での安全確保 (熱中症予防)
- ✓ 薬液の被液防止
- ✓ 設備保全 (計画的老朽更新、異常対応)
- ✓ 外部業者、来訪者への安全指導
- ✓ 異常気象時、災害時の予防的な安全確保

① 労働災害の撲滅

労働災害（休業・不休業）ゼロ

② 事故・トラブルの撲滅

事故 ゼロ

③ 法令ルール遵守の徹底

労働安全衛生に係わる違反ゼロ

毒劇法、廃掃法、消防法等への適正対応

① 地区安全活動の推進

安全パトロールによる不安全箇所の抽出と改善指導

- ・ 産業医パトロール（1回／月）
- ・ 安全管理者パトロール（1回／年）
- ・ 安全衛生委員パトロール（2回／年）
- ・ 安全衛生推進員パトロール（6回／年）

安全教育の計画的実施

- ・ 新入社員や転入者に対する安全教育実施（1回／人）

ヒヤリハット活動の推進

- ・ ヒヤリハット提案（1件以上／月・人）
- ・ 安全衛生委員会でのヒヤリ事例検討（1件以上／月）
- ・ 優秀ヒヤリ提案に表彰（2件／月、3件／年）

② 設備点検強化

定期自主点検の実施

- ・ 法令4点セットに基づく点検（1回／年）
- ・ 第一種圧力容器（1回／月）
- ・ エレベーター（1回／月）
- ・ フロン関連機器の点検（1回／3か月）
- ・ 絶縁保護具（1回／6か月）
- ・ 第二種圧力容器（1回／年）
- ・ 局所排気装置（1回／年）
- ・ 動力遠心機械（1回／年）
- ・ 小型ボイラー（1回／年）
- ・ 化学設備（屋外重油タンク；1回／年）

危険源のリスク特定とリスク低減

- ・ 新規設備導入時のリスクアセスメント実施（都度）

③ 労働災害の撲滅及び労働安全衛生管理の推進

リスクアセスメントの実施と許容できないリスクの低減

- ・ ヒヤリハットリスクアセスメントの実施（全件； ≥ 1 件／月・人）
- ・ 化学物質リスクアセスメントの実施
（新規対象物質購入時、取扱作業変更時）
- ・ 機器、作業リスクアセスメントの実施（1回／6か月）

重点災害、事故防止活動

- ・ 安全衛生委員会での他事業所労災事例の水平展開

KY訓練の実施でKY活動レベルアップ

- ・ 月例の安全常会でKY訓練実施（8回／年）

防災訓練実施（1回／年）

- ・ 地区消防署員立会いの下、シナリオレス訓練を実施

③ 労働災害の撲滅及び労働安全衛生管理の推進

健康診断、ストレス調査の結果に基づく職場活動の展開

- ・ 定期健康診断（1回／年、受診率100%）
- ・ 特殊健康診断（1回／6か月、対象者受診率100%）
- ・ がん検診（1回／年、希望者）
- ・ 歯科検診（1回／年、希望者）
- ・ ストレスチェック（1回／年、回答率100%）
- ・ 産業医健康相談（1回／月、希望者）

④ 法令・ルール遵守の徹底

毒劇物、危険物の適正管理

- ・ 定期的な在庫調査実施
（毒物：1回／月、劇物・危険物：1回／6か月）

法令違反防止教育の計画的実施

- ・ 法令違反事例教育実施
（1回／3か月、道交法、社内ルール、災害時初動）

作業環境測定の計画的実施

- ・ 照度（1回／年）
- ・ 騒音（1回／6か月）
- ・ 特化物、有機溶剤、粉塵（1回／6か月）

環境安全・労働衛生監査受診と指摘事項への対応

各1回の受診実績、指摘事項への対策を順次実施

まとめ

野洲地区の安全衛生活動は

- ◆ 他の事業所様と取り組む内容はほとんど同じです
- ◆ 三井化学グループの指導を随時仰ぎながら定められたルールを愚直に守り続けています

三井化学アグロ概要

野洲地区 安全活動

安全活動への係わり

トップ・管理者

メンバー

<トップ・管理者の係わり>

**組織としての安全意識は、
組織の長 以上にはならない！**

- ・繰り返し安全メッセージを伝える
- ・「安全はトップダウン」と口にする
- ・三現主義の実践（現場・現物・現人）

① 三井化学 経営陣

『安全は全てに優先する』

4月22日は 三井化学 安全の日

- 爆発火災事故を発生させてしまい、大切な仲間を亡くしてしまった
- この事故により、負傷された方、近隣の方、関係官庁の方、お客様、他、大勢の方々に多大なご迷惑をお掛けしてしまった

＜社長訓話＞

これらの事実を絶対に風化させず、

「安全は自分自身のため、家族のため、同僚のため、社会のため」

であることを再度認識し、三井化学グループ全体で「安全のために自分は何をすべきか」をしっかりと考え、安全の底上げとなるよう意欲的に行動する

② 三井化学アグロ 経営陣

・レスポンシブルケア基本方針 社長メッセージ

『安全は全てに優先する』

を私たち全員が心に刻み、無事故・無違反の実現を徹底して追求します。

・年度重点課題

『事故労災の撲滅』

目標 事故・重大災害：ゼロ件
説明会での周知

・社長巡視 本部長巡視

⇒ 危険個所の抽出・改善

③ 研究所ライン管理職

・所長メッセージ

研究者は自ら考える！ ただし

安全とコンプライアンスはトップダウン

・年度重点課題

『 事故労災の撲滅 』

予算説明会での周知

年度ごとに新たな取り組み （19年度：交流パトロール）

・各種パトロール

⇒ 危険個所の抽出・改善

<メンバーの係わり>

多岐にわたる研究業務内容

⇒ 作業ごとに特有のリスク

- ・毎朝の小集団による作業KYの実施

経験豊富な研究員を交えた、
具体的な危険源抽出と対策の共有及び実践

- ・毎月の自警的パトロールによる不安全箇所の抽出と改善

具体的な重点パトロールポイントの設定と、
メンバー間相互による安全啓発の推進

「安全は自分自身のため、家族のため、同僚のため、社会のため」



mitsui chemicals agro, inc.

ミツイケミカルズ アグロ インク

常々、部下に言い続けている事

皆さんには釈迦に説法だと思いますが・・・

組織としての安全意識は、組織の長※ 以上にはならない！

ライン長自身の安全意識を低下させないため

あえて・・・ **安全は トップダウン！** ……と口に出す

「やらされ感」を拭うには、
ライン長の意思（哲学）、行動（生き方）が部下に伝わらねばならない

JAL名誉会長・稲盛和夫
「組織はトップの器以上にならない」